

令和5年度第2回 新川地域医療推進対策協議会、新川地域医療構想調整会議  
及び新川地域 医療と介護の体制整備に係る協議の場 議事要旨

開催日時：令和6年2月15日（木）19：00～20：20

開催場所：黒部市国際文化センター「コラーレ」マルチホール

議事要旨

- 1 開会
- 2 挨拶（事務局）
- 3 議題1～4について説明
- 4 質疑応答
- 5 閉会の挨拶（新川厚生センター所長）

【質疑応答】

- 1 新川医療圏の現状について
- 2 地域医療計画（案）について
- 3 公立病院経営強化プラン（案）の策定見通し等について
- 4 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について  
（委員）

病院では、今年度から医師等の変動はあったのか。

（委員）

病院全体では、ほぼ現状と同じ医療提供できると考えている。

（委員）

全体ではほぼ現状維持。循環器は増員となり、急性心筋梗塞等の疾患に今まで以上に対応できる体制になる。

（委員）

当病院は回復期から在宅を主眼に取り組んでいる。その中心が総合診療内科であるが、内科医については来年度も現状のまま推移する。

（委員）

令和7年度までの地域医療構想は4つの病床機能の最適化をめざすことになっているが、現実的には慢性期の高齢者がかなり増えている。ここ数年、新川地域でも介護施設が増えている。病床数を減らすと近隣の介護施設が増え、介護施設が充実すると在宅医療が伸び悩む現状がある。医療と介護は密接につながっており、4区分の病床数だけでなく介護施設数も含めて考えていかないと、地域の総合的な調整にならないのではないか。

（事務局）

介護療養病床は介護医療院という介護施設に転換したわけで、病院から追い出すということではない。施設の転換がメインで考えていけないのではないか。

今後は、医療療養病床を介護医療院など他の施設へ転換できるのかという観点で考えていく必要がある。

(委員)

在宅医療に関して、グループホームとかサービス付き高齢者向け住宅とかいろいろな施設が増えているが、従来想定していた介護度の低い人が入居しているのではなく、特養に入る人（要介護度4，5）がたくさんいる。入居者が亡くなり看取りまでしている施設もある。そうした数字も一度はっきり出した方がよいのでは。